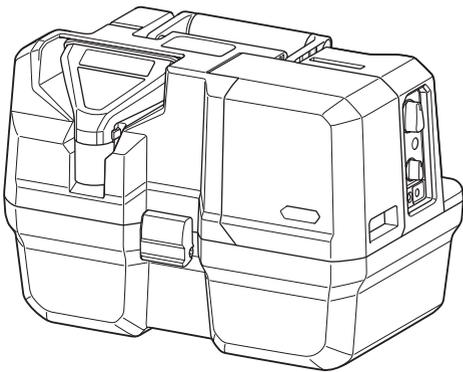


Makita

取扱説明書

充電式集じん機

モデル VC013G
(乾湿両用)



このたびは充電式集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	16
標準付属品の確認	17
別販売品のご紹介	18
その他	20

ご使用前の準備

バッテリーの充電	21
バッテリー/充電器の取り扱い	23
使用前に知っておいていただきたいこと	24

使い方

バッテリーの取り付け/取りはずし方法	27
本製品の操作	29
・ホース/ノズルの取り付け方法	29
・ノズルの収納方法	30
・スイッチの操作	31
・集じん作業	32
・吸水作業	33
・ブロウ作業	34
・電動工具との接続	35
・キャスタ(別販売品)の使い方	36
無線連動機能(AWS)	37
使用後の取り扱い	47
・ゴミの捨て方	47
・フィルタの取り付け/取りはずし方法	48
・プレフィルタの取り付け方法	50
・フィルタバッグ(別販売品)または紙バッグ(別販売品)の取り付け/取りはずし方法	51
・ポリ袋(別販売品)の取り付け/取りはずし方法	54
・保管場所について	55

保守/点検

保守	56
故障かな?と思ったら	58

はじめに

主要機能

主要機能	モデル	VC013G
電動機		DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー		リチウムイオンバッテリー 「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧		直流 36 V (40 V max) ※ 1
最大風量		1.3 m ³ /min(φ 28 mm × 5.0 m ホース装着時)
最大真空度		15 kPa
最大吸込仕事率		120 W (φ 28 mm × 5.0 m ホース装着時)
集じん容量		7.5 L
吸水量※ 2		4.5 L
防じん・防水保護等級		IPX4

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2：吸水量は使用条件により異なる場合があります。

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4020	4.5 kg	長さ 400 mm × 幅 251 mm × 高さ 282 mm
BL4080F	5.7 kg	

1 回の充電での作業量 (参考値)

- ・ 数値は参考値です。

使用バッテリー	吸引力調整ダイヤル	連続作業時間
BL4050F	最大	約 22 分
	最小	約 120 分

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠ 警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを押し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠ 警告**12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安**

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式集じん機の安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護メガネを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 可燃物が大量に舞っている場所で使用しないでください。
 - ・ 火災の原因となります。
4. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

5. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
6. 本製品を倒したり、横倒したりした状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。

⚠ 警告

7. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落したり、ぶつかったりしたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本製品の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本製品の変形の原因になります。
3. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
 - ・ 転倒するなどけがの原因になります。
4. 本製品上面を作業台として使わないでください。
 - ・ 本製品に載せたものが落ちて、破損する恐れがあります。
5. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モータ焼損など、故障の原因になります。
6. フロートが作動したまま運転しないでください。
例：作業者がいない状態でポンプとして使用する。
 - ・ モータの温度が上昇し、部品の変形やモータ焼損など、故障の原因になります。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

- ・ ワイヤレスユニットが集じん機に内蔵されている場合、ワイヤレスユニットは取りはずすことができません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

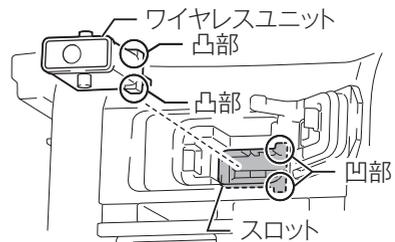
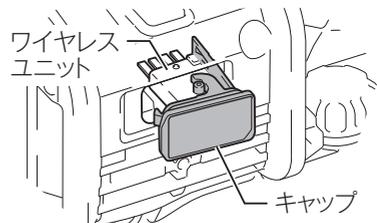
1. バッテリーが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50 °C を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
 - ・ 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを保管する際は、付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

⚠ 警告

20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
- 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。
21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間には障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
- 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

⚠ 注意

- ワイヤレスユニットを取り付ける際は、必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
- ワイヤレスユニットの取り付け方法については、使用する工具の取扱説明書を併せて参照してください。
- 工具側のキャップをあげる際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
- スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
- ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
- ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に押し込まないでください。
- キャップが開いた状態で使用しないでください。



※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0～3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

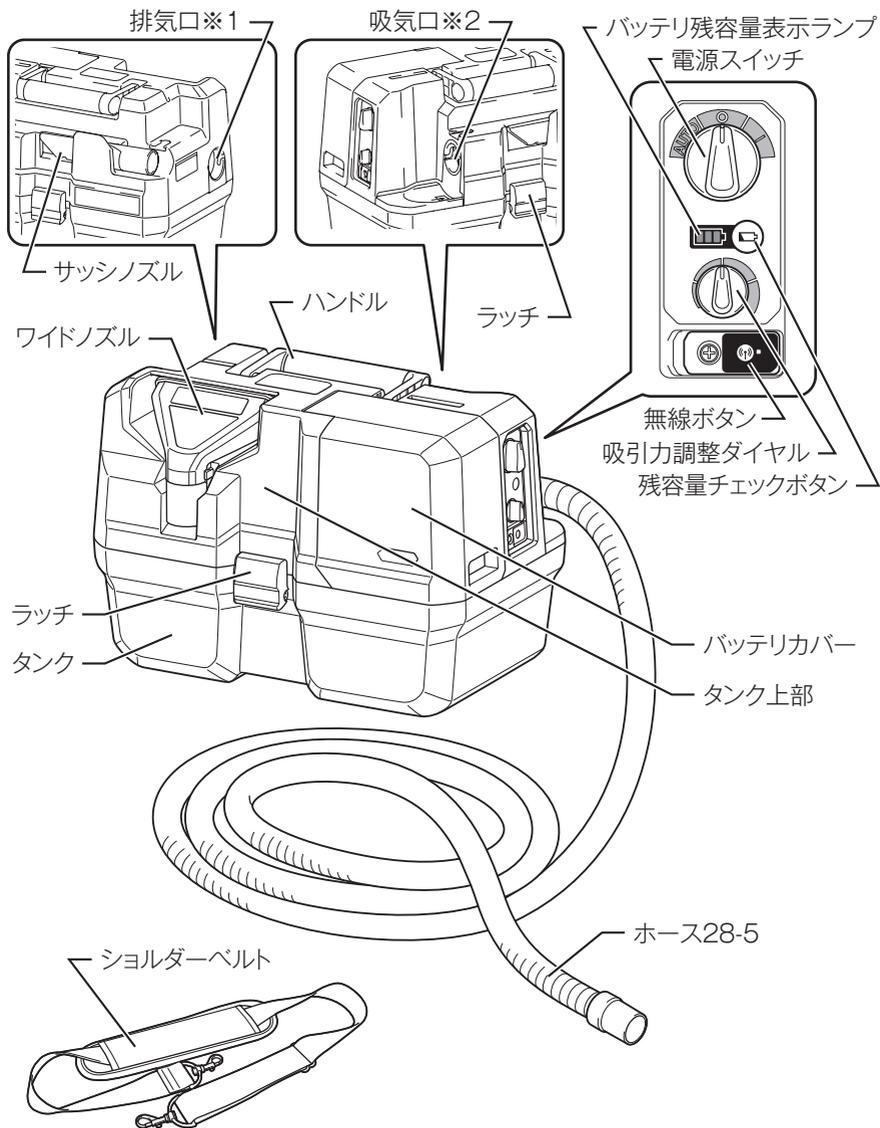
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0～3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- 工具本体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称



※1：ブロウ作業時にホースを取り付けます。
※2：集じん作業時にホースを取り付けます。

標準付属品の確認

標準付属品	モデル	VC013GZ
バッテリー		×
充電器		×
ホース (φ 28 mm × 5.0 m)		○
ワイドノズル		○
サッシノズル		○
ショルダーベルト		○
ダンパ		○
プレフィルタ		○
フロントカフス 22		○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ キャスタ 50 (ストッパ無し)
部品番号：162C27-7
- ・ キャスタ 50 (ストッパ付き)
部品番号：162D18-4
- ・ ホースコンプリート 28-5
部品番号：A-79463
- ・ 紙パックセット品
部品番号：A-79441
- ・ フィルタバッグセット品
部品番号：A-79479
- ・ 水専用フィルタ
部品番号：A-79516
- ・ ポリ袋 (サイズ 650 mm × 650 mm : 10 枚入)
部品番号：A-45777
- ・ ワイヤレスユニット (WUT01)
部品番号：A-66151
無線連動機能を使用するには、ワイヤレスユニットと無線連動機能に対応したマキタ製工具と集じん機が必要です。

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA
	DC40WB (充電器)	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ

部品番号：A-69967

充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

その他

シンボルマークについて

- ・ 注意ラベル上にシンボルマークを記載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品を踏み台にして立ち上がらないでください。
---	---

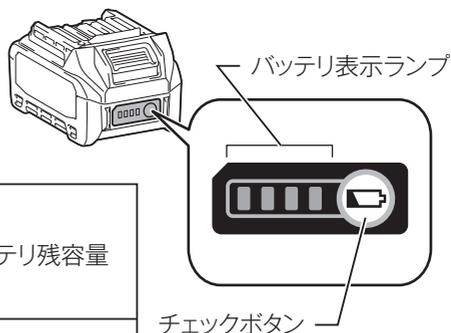
ご使用前の準備

バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



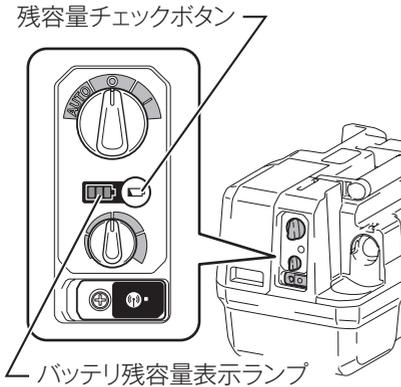
バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
:点灯 :点減 :消灯	
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

本製品のバッテリー残容量表示機能

- 電源スイッチの位置にかかわらず、運転開始時または残容量チェックボタンを押したときにバッテリー残容量表示ランプがバッテリー残容量を数秒間表示します。



バッテリー残容量表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 □:消灯 ▨:点滅	
	50% - 100%
	20% - 50%
	0% - 20%
	充電してください

バッテリーの充電方法

- お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

- ・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

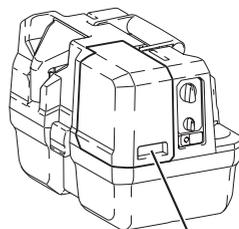
使用前に知っておいていただきたいこと

ハンドルの使い方

⚠ 注意

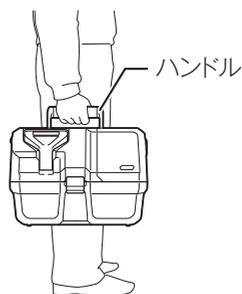
本製品を運搬する際は、必ずハンドルを使用してください。
バッテリーカバーの凹部に手をかけて運搬しないでください。

- ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。



バッテリーカバーの凹部

- ・ ハンドルを持って運搬できます。
- ・ ハンドルを使用しないときは、ハンドルを倒して収納できます。



注

- ・ 運搬時にはタンク内の水は捨ててください。
 - ・ 水が漏れる可能性があります。

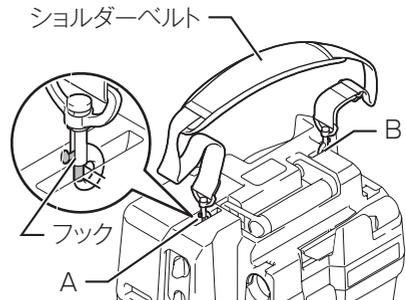
ショルダーベルトの取り付け方

⚠ 警告

高所での作業にはショルダーベルトを使用しないでください。
本製品を置いて使う場合は、平らな安定した場所に置いてご使用ください。

- ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

- ・ ショルダーベルトのフックをそれぞれ、A、Bに取り付けます。
- ・ ショルダーベルトは作業しやすい長さに調整してご使用ください。

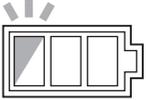
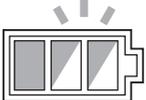
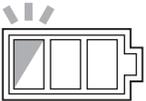


注

- ・ 付属のショルダーベルト以外は使用しないでください。
- ・ ショルダーベルトを取り付けて本製品を持ち運ぶときは、ショルダーベルトを確実に取り付け本製品を落とさないようにご注意ください。
 - ・ 本製品が落下してけがをしたり、本製品が破損したりする恐れがあります。

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能	バッテリー残容量表示ランプ □:消灯 □:点滅 □:点灯
<ul style="list-style-type: none"> 本製品およびバッテリーが高温になるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 使用を中断して本製品からバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。 ゴミ詰まりや水を吸いすぎた場合も、異常発熱の原因になるので、ゴミや水を取り除いてください。 	<p>バッテリーの異常発熱</p> 
<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 本製品からバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。 	<p>本製品の異常発熱</p> 
<ul style="list-style-type: none"> 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 一旦スイッチを切り本製品からバッテリーを取りはずしたあと、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。 	<p>本製品の自動停止</p> 

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(58 ページ参照)に従って点検してください。

再起動防止

- 再起動防止機能により、電源スイッチが「ON (I)」の状態でもバッテリーを差し込んでも本製品は起動しません。このとき、残容量チェックボタンを押すと、バッテリー残容量表示ランプが点滅します。
- 一旦、電源スイッチを「OFF (O)」にし、再度電源スイッチを「ON (I)」にすると起動します。

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

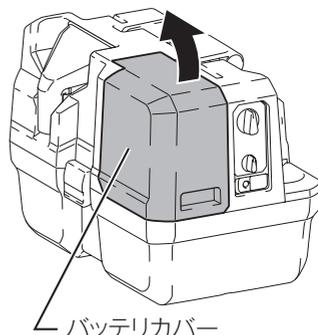
⚠ 警告

バッテリーを取り付けるときは、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。バッテリーを差し込んだ際に「カチッ」と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。

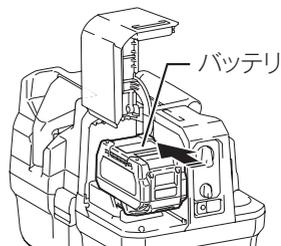
- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

■ 取り付け方

1. バッテリーカバーを真上まで開きます。



2. バッテリーを本製品の溝に沿わせて、カチッと音がするまで差し込みます。
3. バッテリーカバーを閉じます。

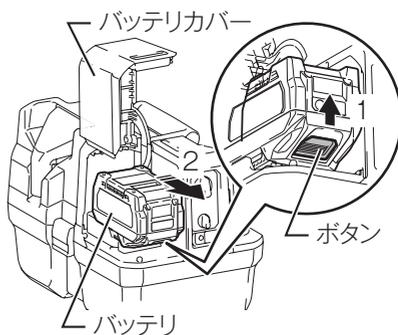


注

- ・ バッテリーカバーを強引な力で開けないでください。バッテリーカバーがはずれて破損の原因になります。

■ 取りはずし方

1. バッテリーカバーを真上まで開きます。
2. ボタンを押しながら、バッテリーを手前に引き出します。
3. バッテリーカバーを閉じます。



注

- バッテリーカバーの開閉時やバッテリーの挿入時に、指をはさまないように注意してください。

本製品の操作

ホース／ノズルの取り付け方法

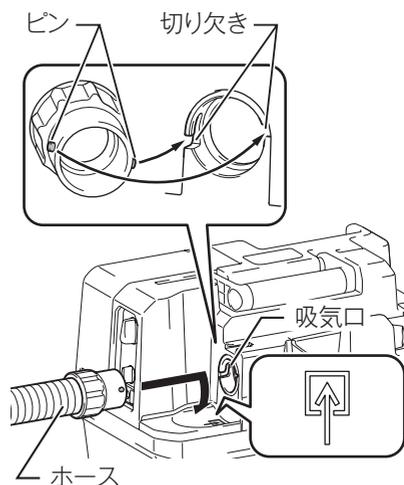
⚠ 注意

- ・ ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。
- ・ ホースの変形や破損などの原因になります。
- ・ ノズル類は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと挿し込んで取り付けてください。

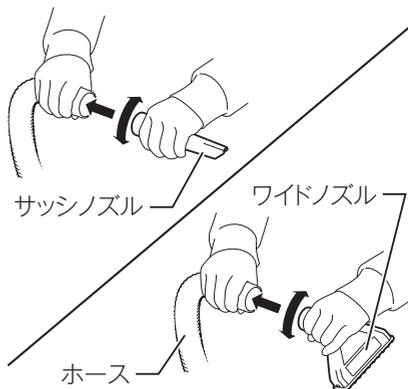
ホースは用途によって取り付け位置が異なるため、ご注意ください。

■ 集じん／吸水作業時

1. ホース外側のピン（2か所）を吸気口の切り欠きに合わせて、ホースを挿し込みます。
2. ホースを右方向にカチッと止まるまで回します。

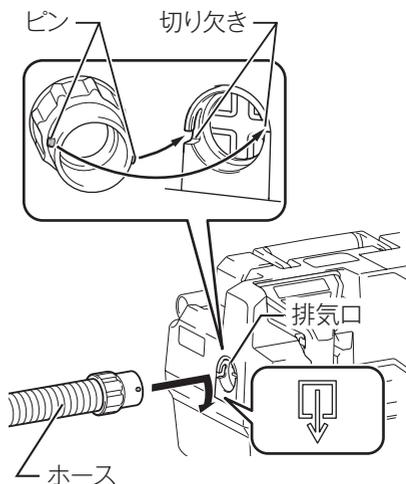


3. ご使用になるノズルをホースの先端にねじ込みます。
 - ・ ノズルを引っ張って、抜けないことを確認してください。



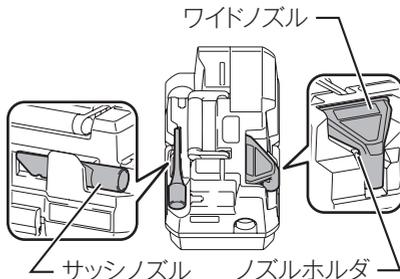
■ ブロワ作業時

1. ホース外側のピン（2 か所）を排気口の切り欠きに合わせて、ホースを挿し込みます。
2. ホースを右方向にカチッと止まるまで回します。



ノズルの収納方法

- ・ ワイドノズルはノズルホルダにはめて固定できます。
- ・ サッシノズルは本製品に挿して収納できます。



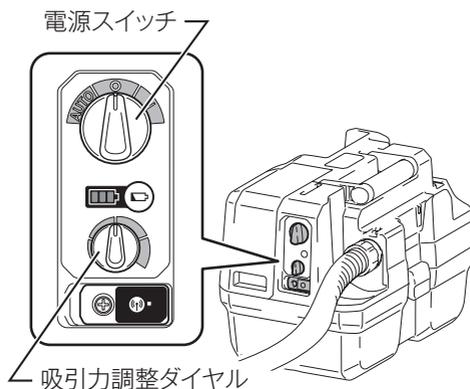
スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、電源スイッチが「OFF (O)」になっていることを必ず確認してください。

- ・ 本製品は再起動防止機能を備えています。電源スイッチが「ON (I)」の状態
でバッテリーを差し込んでも作動しません。
その際は、電源スイッチを「OFF (O)」にし、再度電源スイッチを「ON (I)」
にすると作動します。

1. 電源スイッチを「ON (I)」の位置にします。
 - ・ 電源が入り、運転を開始します。
 - ・ 「OFF (O)」の位置にすると、電源が切れます。
2. 吸引力調整ダイヤルを回して吸引力の調整をします。
 - ・ 吸引力はダイヤルを右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。

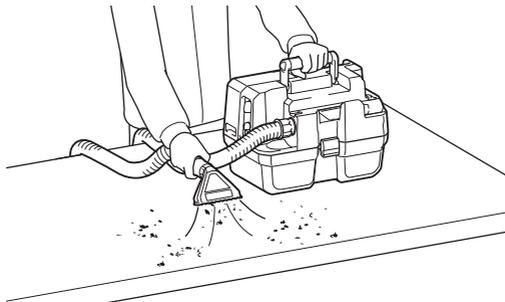


注

- ・ 吸引力調整ダイヤルは、目盛りの範囲内で回してください。範囲を超えて無理に回すと故障の原因になります。

集じん作業

1. ホース／ノズルを吸気口に取り付けます（29 ページ参照）。
2. 電源スイッチを「ON (I)」にして運転します。
3. 粉じんを吸い取ります。
4. 電源スイッチを「OFF (O)」にして、停止します。



吸水作業

⚠ 警告

フロートが働いたままで、長時間運転しないでください。

- ・ 過熱により本製品の変形の原因になります。

泡や石けん水などは吸い込まないでください。

- ・ フロートが働く前に空気の出から泡が吹き出します。このまま使用すると感電や故障の原因になります。

- ・ 本製品には一定量以上の水を吸い込んだ場合にモータ内に水が侵入するのを防ぐフロート機構が付いています。
 - ・ タンク内に水がいっぱいになり、水を吸い込まない場合は速やかにスイッチを切り、水を捨ててください。
1. ホース／ノズルを吸気口に取り付けます（29 ページ参照）。
 2. 電源スイッチを「ON (I)」にして運転します。
 3. 水を吸い込みます。
 4. 電源スイッチを「OFF (O)」にして、停止します。

注

- ・ 連続の吸水作業では、フィルタへの水分の付着により、吸引力が弱くなる可能性があります。その場合はフィルタを乾かしてからご使用ください。繰り返し吸水する場合は、水専用フィルタ（別販売品）をおすすめします。
- ・ ぬれたままのフィルタで粉じんを吸い込まないでください。
 - ・ 粉じんがフィルタにこびりつくことがあります。

ブロワ作業

⚠ 警告

泥水などを吹き飛ばさないでください。

- ・ 吹き飛ばされたものが目に入り、けがの原因になります。

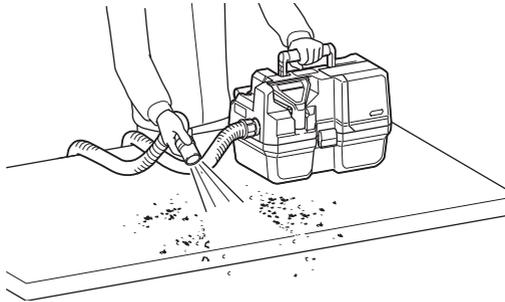
風下からブロワ作業をしないでください。

- ・ 吹き飛ばされたものが目に入り、けがの原因になります。

ブロワ作業時は常に保護メガネや防じんマスクを使用してください。

ブロワ作業時はノズルを人に向けないでください。

1. ホースを本製品の排気口に取り付けます (30 ページ参照)。
2. 電源スイッチを「ON (I)」にして運転します (31 ページ参照)。
3. 粉じんを吹き飛ばします。
4. 電源スイッチを「OFF (O)」にして、停止します (31 ページ参照)。



- ・ ホース先端にサッシノズルを付けて使用すると、狭い隙間の掃除がしやすくなります。

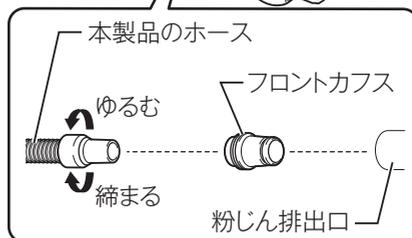
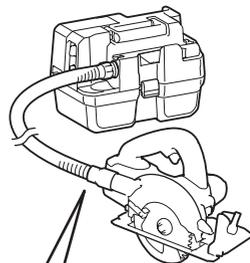
電動工具との接続

⚠ 警告

本製品を電動工具に接続する際は、本製品のスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。また、電動工具もスイッチを切り、バッテリーを抜くか、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 工具が急に動きだし、事故の原因になります。

1. ホースを本製品の吸気口に取り付けます (29 ページ参照)。
2. ホース先端を電動工具の粉じん排出口に接続します。
 - ・ 電動工具の粉じん排出口の大きさに合わせて、フロントカフスを取り替えてご使用ください。詳しくは、電動工具の取扱説明書またはカタログを参照ください。



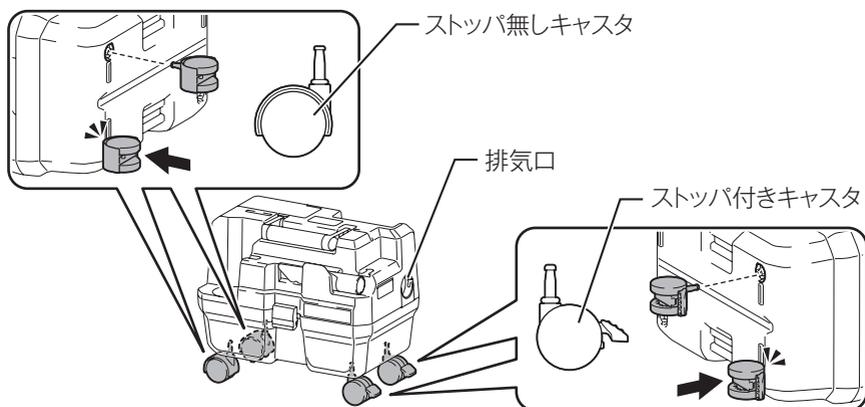
注

- ・ ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。
 - ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

キャスタ（別販売品）の使い方

■ キャスタの取り付け方

- ・ 吸気口側の穴（2 か所）には、ストッパ無しのキャスタを取り付けます。
- ・ 排気口側の穴（2 か所）には、ストッパ付きのキャスタを取り付けます。
- ・ キャスタを取りはずすときは、引き抜いてください。

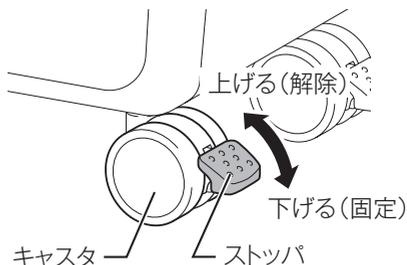


■ キャスタの固定／解除

⚠ 注意

本製品を収納、作業の中断、作業中は不意に動き出すことを防ぐためにキャスタを固定してください。

- ・ キャスタ（ストッパ付き）のストッパを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、ストッパを上げます。
- ・ ストッパの操作は手で行ってください。



注

- ・ 本製品を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタが固定されたままでの移動は、キャスタの破損の原因になります。

無線連動機能 (AWS)

無線連動の手順概要

無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。
 工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。詳しい操作方法は、各ステップの説明ページを参照してください。

準備 (p.40)	工具	<ol style="list-style-type: none"> ① ワイヤレスユニットを取り付ける。 ② バッテリーを取り付ける。 ③ 無線ボタンを押す。 	集じん機	<ol style="list-style-type: none"> ① バッテリーを取り付ける。または電源プラグをコンセントに挿す。 ② レバーを“連動”に合わせる。
		<p>無線ランプの状態 青点滅 (無線連動待機)</p>		<p>無線ランプの状態 青点滅 (無線連動待機)</p>

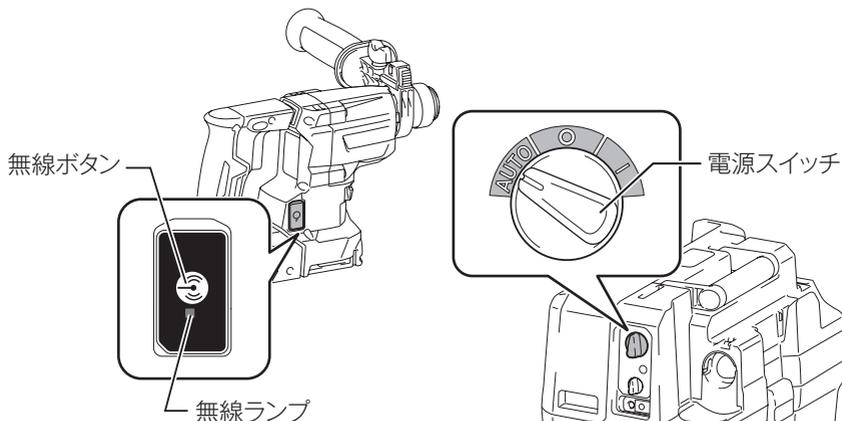
機器登録 (p.41)	工具	<p>緑点滅になるまで無線ボタンを押し続ける。</p> <p>長押し</p>	集じん機	<p>緑点滅になるまで無線ボタンを押し続ける。</p> <p>長押し</p>
	<p>※2回目の使用からは機器登録は不要です。</p>	<p>無線ランプの状態</p> <p>緑点滅 (機器登録待機)</p> <p>緑点灯 (機器登録完了)</p> <p>青点滅 (無線連動待機)</p>		<p>無線ランプの状態</p> <p>緑点滅 (機器登録待機)</p> <p>緑点灯 (機器登録完了)</p> <p>青点滅 (無線連動待機)</p>

無線連動 (p.40)	工具	<p>無線連動待機(無線ランプが青点滅)のときにスイッチをONにする。</p>	集じん機	<p>工具のスイッチに連動して自動的に吸引が始まります。</p>
		<p>無線ランプの状態</p> <p>青点滅 (無線連動待機)</p> <p>青点灯 (無線連動作動)</p>		<p>無線ランプの状態</p> <p>青点滅 (無線連動作動)</p> <p>青点灯 (無線連動作動)</p>

※製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。

※無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押ししたり、集じん機側のレバーを連動以外にしたりすると無線連動が解除されます。

- ・ 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
- ・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



Bluetooth[®] について



Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ワイヤレスユニット（A-66151）の取り付け方

- ・ 無線連動機能を使うためには、本製品にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。
- ・ ワイヤレスユニットは別販売品です。

⚠ 警告

ワイヤレスユニットを取り付けたあとは、ワイヤレスユニットを取りはずさないでください。

⚠ 注意

ワイヤレスユニットに触れる前に、金属部品など静電気を放電する素材に触れてください。

- ・ 静電気による故障の原因となります。

ワイヤレスユニットを取り付ける前に、本製品に付着したホコリや汚れを取り除いてください。

- ・ ホコリや汚れがスロット内部に入ると、故障の原因となります。

ワイヤレスユニットを取り付けるときは、水平な場所で作業してください。

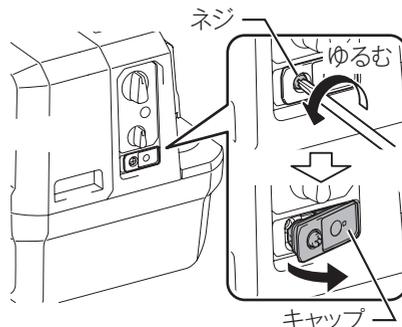
ワイヤレスユニットは正しい方向で挿入してください。

ワイヤレスユニット取り付け後は、キャップが完全に閉まっていることを確認してください。

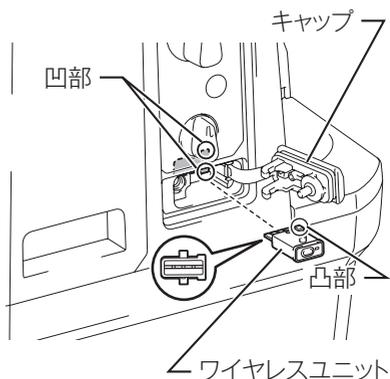
注

- ・ ワイヤレスユニット取り付けの際は、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。
- ・ バッテリーを差したまま行くと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

1. ネジをゆるめ、キャップを開きます。



2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。
3. キャップを閉め、ネジで締めます。
 - ・ キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



無線連動の準備

1. 集じん機の電源スイッチを「連動 (AUTO)」の位置に入れます。
 - ・ 集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。
 - ・ 「OFF (O)」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。
 - ・ 工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

無線連動

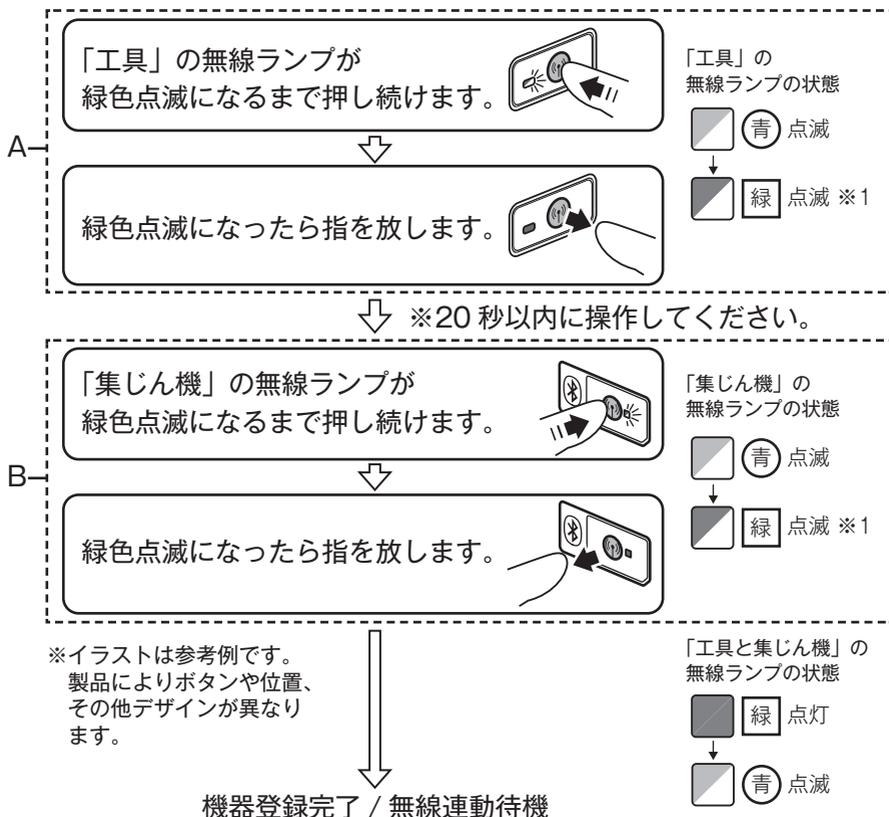
1. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。
 - ・ ワイヤレスユニットが機器登録済みであれば、集じん機が連動して作動します。
 - ・ 無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

注

- ・ 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- ・ 工具のスイッチを切ったあとも、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。
- ・ 工具のスイッチを入れても無線連動しない場合はワイヤレスユニットを集じん機に機器登録してください (41 ページ参照)。

機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（40ページ参照）。

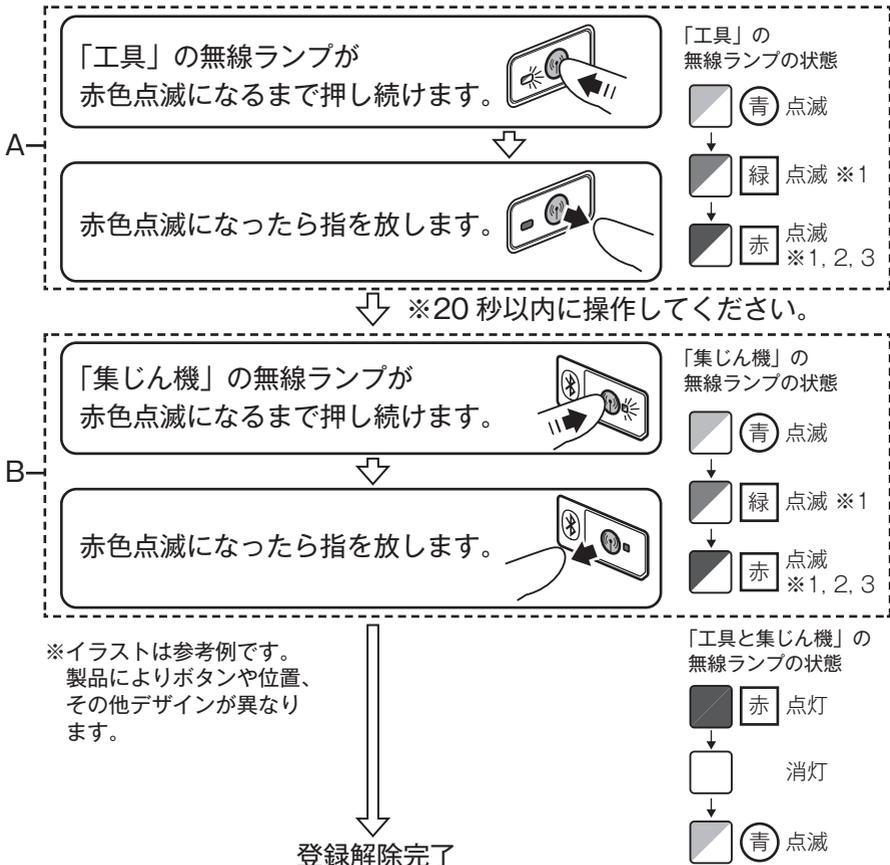


注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ※1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

登録解除

- ・ 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（40ページ参照）。

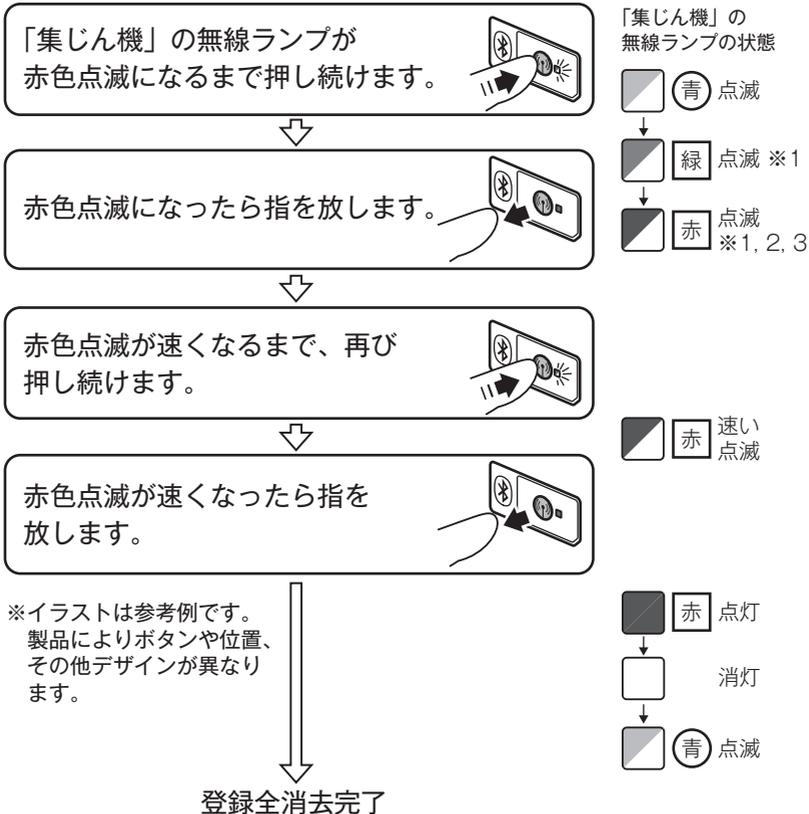


注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ ※ 1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ ※ 2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ ※ 3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

登録全消去

- ・ 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- ・ 操作は集じん機のみで行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします（40 ページ参照）。



注

- ・ ※ 1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ ※ 2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ ※ 3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線ランプについて

基本モード	色	点灯 / 点滅と継続時間		状態
待機	青	点滅	集じん機： 連動（AUTO）時	機器登録の待機中です。
			工具： 電源を入れ、無線ボタンを押したとき	
			機器登録の完了後	無線連動の待機状態です。
		工具：約 2 時間	無線連動機能が利用できません。 無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能を停止します。	
		点灯	運転中のみ	無線連動機能中です。
機器登録	緑	点滅	約 20 秒間	機器登録の準備中です。 登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		点灯	約 2 秒間	機器登録が完了しました。 そのあと、青色の点滅になります。
登録解除・登録全消去	赤	遅い点滅 (2 回 / 秒)	約 20 秒間	登録解除の準備中です。 登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		早い点滅 (5 回 / 秒)	赤色の点滅後に、 再び無線ボタンを押し続けたとき	登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。
		点灯	約 2 秒間	登録全消去が完了しました。 そのあと、青色の点滅になります。
その他	赤	点灯	約 3 秒間	無線連動機能の起動中です。
	消灯	—	—	無線連動機能が停止しています。

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 14 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたホコリや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。 ⇒ 40 ページ参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 40 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
バッテリーの容量が少ない。		バッテリーを充電してください。 ⇒ 21 ページ参照	
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 14 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたホコリや汚れを落として、取り付け直してください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 40 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 41 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 42 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください (最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します)。
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 41 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 42 ページ参照
	その他	集じん機、工具の片方みの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
		周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。 ⇒ 14 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたホコリや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点減になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 40 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 41 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 41 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎています。	工具と集じん機を近づけて操作してください (最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します)。
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。 ⇒ 21 ページ参照
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。
工具のスイッチまたは集じんボタンを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・ 使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 42 ページ参照 ・ 登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・ 登録全消去⇒ 43 ページ参照 ・ 機器登録⇒ 41 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行えます。 ⇒ 43 ページ参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動 (AUTO)」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動 (AUTO)」にしてください。 ⇒ 40 ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 43 ページ参照

- ・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

使用後の取り扱い

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際には、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

ゴミを捨てる際には、保護メガネや防じんマスクを使用してください。

⚠ 注意

タンクに強い衝撃を与えないでください。

- ・ 変形・破損の原因になります。

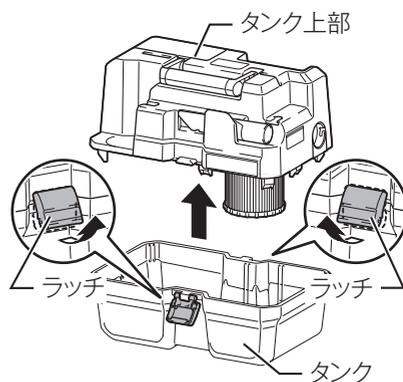
集じん量にもよりますが、タンク内のゴミは毎日 1 回以上捨ててください。

- ・ 吸引力の低下やモータの故障の原因になります。

タンク内のゴミを捨てるときは、ラッチを持たないでください。

- ・ ラッチが破損する原因になります。

1. ラッチ (2 か所) をはずします。
2. タンク上部をタンクから取りはずします。



3. タンクに溜まったゴミを捨てます。
 - ・ フィルタバッグ (別販売品) / 紙パック (別販売品) の捨て方については 53 ページを参照。
 - ・ ポリ袋 (別販売品) の捨て方については 54 ページを参照。



フィルタの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

フィルタの取り付け、取りはずしの際には、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

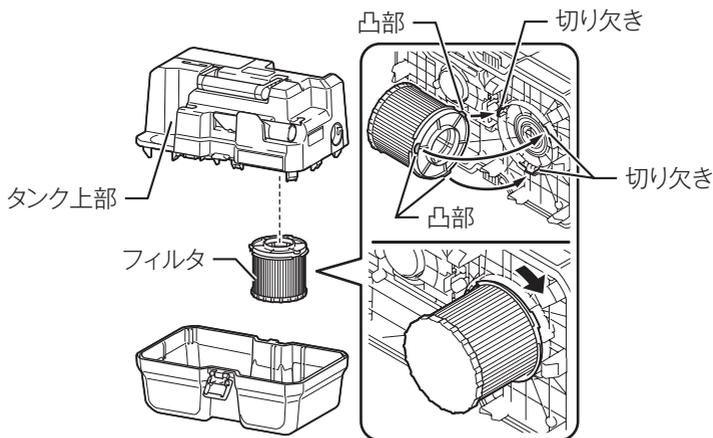
フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。

また、フィルタは乾湿両用です。吸水時にも取りはずさないでください。

- ・ モーター焼損など、故障の原因になります。

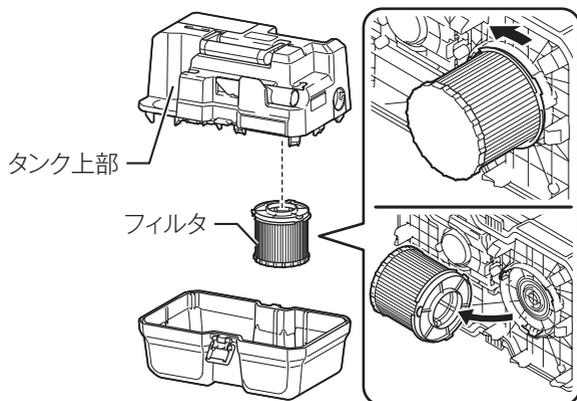
■ フィルタの取り付け方

1. タンク上部を取りはずします（47 ページ参照）。
2. フィルタ外側の凸部（3 か所）をタンク上部の底面にある切り欠きに合わせて、フィルタを挿し込みます。
3. フィルタを右方向に止まるまで回して固定します。



■ フィルタの取りはずし方

- ・ フィルタを左方向に回し、タンク上部から引き抜きます。



プレフィルタの取り付け方法

⚠ 警告

プレフィルタの取り付け、取りはずしの際には、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

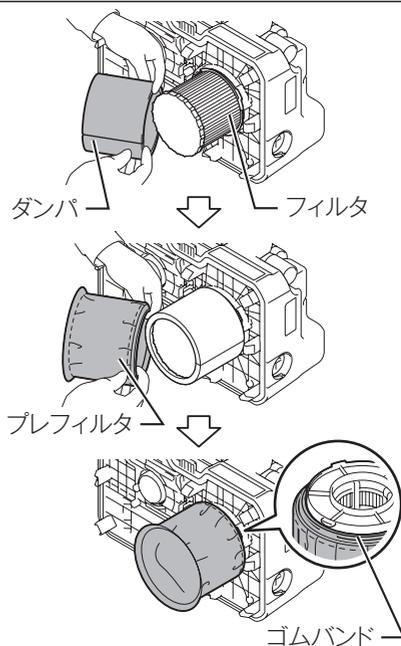
- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

プレフィルタは、フィルタで乾いたホコリを吸い取る場合にのみ使用してください。

- ・ プレフィルタを吸水に使用すると、水の吸引能力が低下する可能性があります。吸水する場合は、水専用フィルタ（別販売品）をおすすめします。

1. タンク上部を取りはずします（47ページ参照）。
2. ダンパをフィルタに取り付け、プレフィルタで覆います。
3. プレフィルタのゴムバンドをフィルタの縁に引っかけます。
4. タンク上部を取り付けてラッチ（2か所）で固定します。



フィルタバッグ（別販売品）または紙パック（別販売品）の取り付け／取りはずし方法

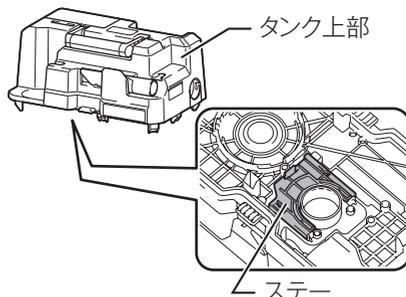
⚠ 警告

フィルタバッグ／紙パックの取り付け、取りはずしの際には、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

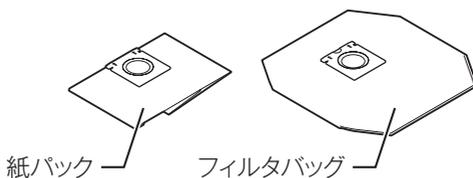
注

- ・ フィルタバッグ／紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。
 - ・ フィルタバッグや紙パックが破れる原因になります。
- ・ 紙パック使用時は、コンクリート、石膏などの粉じんを吸わせないでください。
 - ・ 紙パックが破れる原因になります。
- ・ フィルタバッグ／紙パックは使い捨てです。ゴミが溜まりましたらフィルタバッグ／紙パックごと捨ててください。
 - ・ 再使用はしないでください。目づまりを起こして吸引力を落とします。
- ・ ステアは捨てないでください。フィルタバッグ／紙パックをタンクに取り付ける際に使用します。
- ・ フィルタバッグ／紙パックを使用しない場合は、ステアをタンク上部の底面にある固定位置へ取り付けてください。
 - ・ 購入時、ステアはタンク上部の底面に取り付けられています。



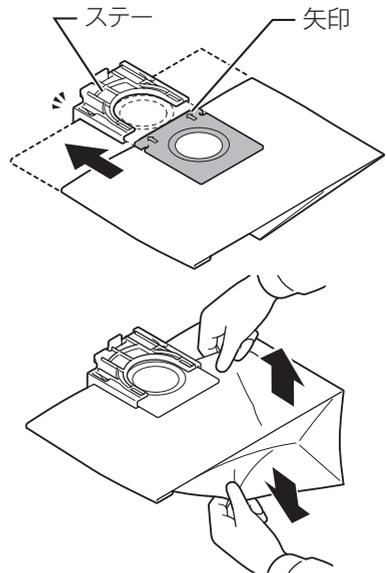
対象物に応じて、フィルタバッグ／紙パックを選択してください。

使用フィルタ	集じんの対象
フィルタバッグ	コンクリートの粉じんや木片
紙パック	ホコリや髪の毛

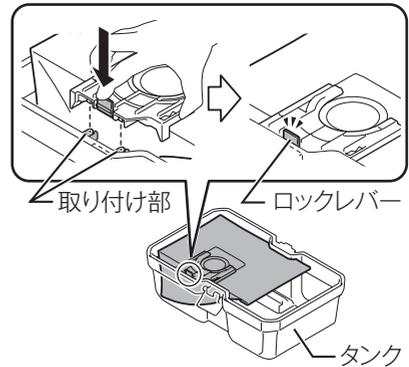


■ フィルタバッグ（別販売品）／紙パック（別販売品）の取り付け方

1. タンク上部を取りはずします（47ページ参照）。
2. 新しいフィルタバッグ／紙パックの厚紙部分にある矢印マークを先に向けて、ステーのスリットに「カチッ」と音がするまで挿し込みます。
 - ・ 購入時、ステーはタンク上部の底面に取り付けられています。
3. フィルタバッグ／紙パックを広げます。

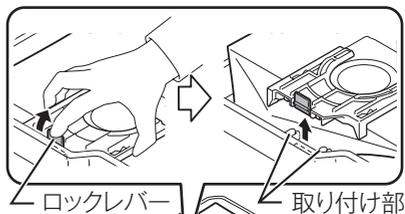


4. ステーのロックレバーを引き、フィルタバッグ／紙パックをタンクの取り付け部に取り付けます。
 - ・ フィルタバッグ／紙パックが固定されると、ロックレバーが「カチッ」と音がします。

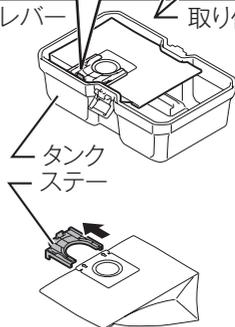


■ フィルタバッグ（別販売品）／紙パック（別販売品）の取りはずし方

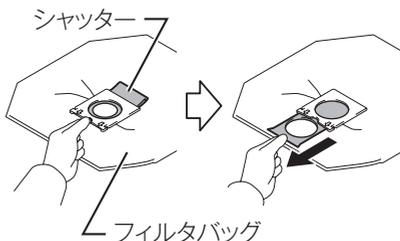
1. タンク上部を取りはずします（47ページ参照）。
2. ロックレバーを引き、フィルタバッグ／紙パックをタンクの取り付け部から取りはずします。



3. フィルタバッグ／紙パックからステータを取りはずします。
 - ・ 取りはずしたステータは捨てないでください。再利用します。



4. フィルタバッグの場合、シャッターを引いてゴミがこぼれないようにし、フィルタバッグごとゴミを捨てます。
紙パックはシャッターがありませんので、そのまま紙パックをゴミごと捨てます。



注

- ・ ステータは捨てないでください。フィルタバッグ／紙パックをタンクに取り付ける際に使用します。
 - ・ フィルタバッグ／紙パックを使用しない場合は、ステータをタンク上部の底面にある固定位置へ取り付けます（51ページ参照）。
- ・ フィルタバッグ／紙パックを取りはずすときは、ゴミが舞い上がらないように静かに作業してください。
 - ・ ゴミが目に入り、目を痛める恐れがあります。

ポリ袋（別販売品）の取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

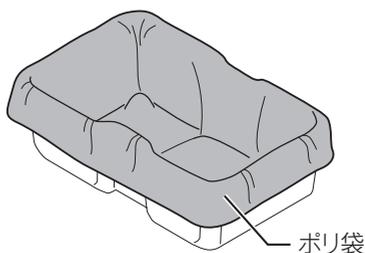
ポリ袋の取り付け、取りはずしの際には、必ず電源スイッチを「OFF (O)」にしてバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

本製品はポリ袋無しでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てがポリ袋を使用することにより手も汚れずに簡単に行えます。

■ ポリ袋の取り付け方

1. タンク上部を取りはずします（47ページ参照）。
2. ポリ袋をタンク内で広げます。
3. タンク上部を取り付けてラッチ（2か所）で固定します。



■ ポリ袋の取りはずし方

1. タンク上部を取りはずします（47ページ参照）。
2. ポリ袋をタンクから取り出し、袋の開口部を閉じます。



注

- ・ ポリ袋をタンクから取り出すときは、タンクの縁で傷が付いたり破れたりしないように静かに作業してください。
- ・ ポリ袋はいっぱいになる前に捨ててください。
 - ・ ポリ袋内のゴミが多くなるとポリ袋が破れることがあります。

保管場所について

- ・ 保管する際は、本製品からバッテリーを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
 - × お子様の手が届いたり、持ち出せたりするところ
 - × 直射日光の当たるところ
 - × 湿気の多いところ

保守

⚠ 警告

点検、整備の際には必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

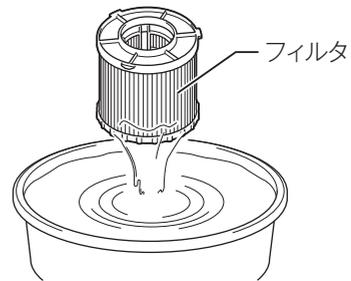
- ・ バッテリーを差したまま行くと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

- ・ 感電やけがの原因になります。

フィルタのお手入れ

- ・ フィルタの目づまりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
- ・ チリ落としの方法は、フィルタを手で軽く叩いてください。
- ・ フィルタは水洗いができますので定期的に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。

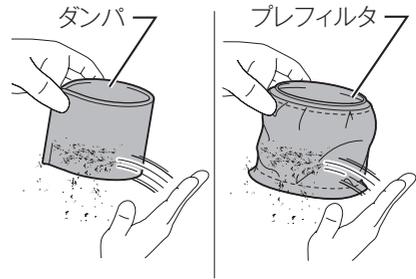


注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタをこすって傷を付けないようにしてください。
- ・ フィルタは傷付きやすいので、エアブロワや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

プレフィルタ／ダンパのお手入れ

- ・ プレフィルタ／ダンパの目づまりは吸引力を著しく低下させますので、付着した粉じんは、プレフィルタ／ダンパを手で軽く叩いてこまめに取り除いてください。



ステーのお手入れ

- ・ ステーに付いたゴミはふきとってください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 26 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881K91-4
CRE

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)